

A vibrant collage representing Malaysia. At the top left, an orangutan is seen behind a wire fence. Below it is a traditional Chinese temple with ornate roofs and red lanterns. To the right, a white mosque with multiple domes and minarets is visible. In the center, a statue of a man in a white robe stands next to a large, dark, multi-armed statue. At the bottom left, the Petronas Twin Towers are shown. In the bottom center, a golden Buddha statue is displayed. At the bottom right, a red church with a white cross and the text 'CHRIST CHURCH 1753 MELA' is featured. A large, reclining Buddha statue is at the very bottom right.

マレーシア紀行

A Trip to Malaysia

2019/3/28~3/31

～CONTENTS～

- Section 1 : [東南アジア系の仏教寺院](#)
Section 2 : [中国系の寺院・建物](#)
Section 3 : [マラッカのヨーロッパ文化](#)
Section 4 : [オランウータン](#)
Section 5 : [ペナン島](#)
Section 6 : [クアラルンプール](#)
Section 7 : [その他](#)

※上記リンクをクリックして、各章に飛べます。また、各ページ左上の「目次へ」をクリックで目次（このページ）に戻れます。



～読む前に～

マレーシアは様々な宗教、文化が混在しています。イスラム教が国教ですが、↖左上のキリスト教会、↑上の中国仏教寺院、←左のタイ仏教寺院などいろいろあります。

Section 1 東南アジア系の仏教寺院

- ① Wat Chaiyamangkalaram Thai Buddhist Temple (ワット・チャイヤマンカララム・タイ仏教寺院)
前のページの左下の、大きな仏像（涅槃仏）がある寺でペナン島にあるタイ寺院です。

↓ 正門。門から豪華絢爛です。物売りがテントを張っていました。



タイ語



中国語。右から左に、「泰佛寺」と書いてあります。泰＝タイ、佛＝仏教です。



← 正門を裏から見た写真。裏までしっかりと飾っています。

この人はガイドさんです。



正門付近を様々な角度から撮影した写真。



→この寺院のトレードマークとも言える世界最大級の大涅槃仏です。
32、33mほどあるようです。





←大涅槃仏の頭

✓大涅槃仏の胴体

↓大涅槃仏の足。お参りする人に
買ってもらうためのロウソクが売
られているのが分かります。

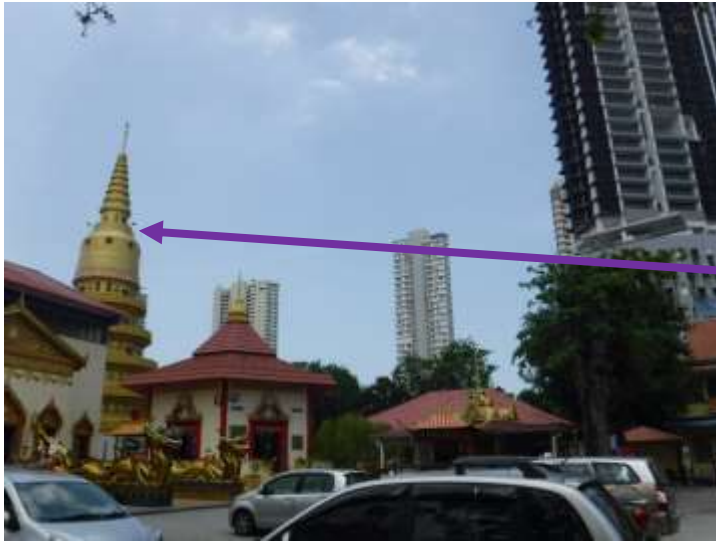


↓大涅槃仏が入っている建物の外側。





↑その建物の外側を、少し角度を変えて撮影。像やドラゴンが、大涅槃仏を守るために置かれています。↑



その他、この寺院の建物。
ストウーパ(パゴダ)(仏塔)が見えます。



②Dhammikarama Burmese Buddhist Temple（ダンミカラム・ビルマ仏教寺院）

通りをはさみ、Wat Chaiyamangkalaram Thai Buddhist Temple の向かい側に位置するビルマ寺院です。

↓寺院正門



中国語。緬＝ビルマ、佛＝仏教。

ビルマ語



←正門を右から写した写真。
白い象の像です。ビルマに象っていうイメージは結構あります。
東南アジアで、象は戦車的な役割をして、戦争に使われていました。



←この寺院のシンボルである、巨大な大仏。
この大仏殿に靴で入ってはいけなかったと
いうことを今でも覚えています。

↓大仏殿入口。SIMA SHRINE HALL と書いて
あります。shrine と書いてありますが、実は
shrine は「崇拝の対象が存在する場所」であっ
て、必ずしも神社とは限りません。



大仏殿に、他にも多数の、中くらいの大きさの仏像
がありました。人もほぼおらず、ものすごく静か
で、神聖な感じがしました。





←大仏殿を横から写した写真

大仏の腕の部分

中くらいの仏像

↓大仏殿の天井を写した写真。

これは大仏の手。



←こんな仏像もありました。背後に、色が変わり、点滅するネオンサインが見えます。後光を表します。

↓寺の廊下



寺の中庭→



同じ建物

菊の紋様が描かれていますが、葉っぱの枚数を数えたら 24 枚だったので日本とは多分関係ないでしょう（天皇の菊の御紋の葉は 16 枚で、日本の寺社で菊の紋様を使っていて葉っぱが 12 枚や 8 枚のところもあります、天皇に敬意を表すために、枚数を減らしているそうです）。この寺院では、枚数が菊の御紋より多いので、関係なさそうです。

寺の正門→



寺の正門



大仏殿入口。
狛犬っぽいものがあります。
「チンテ」というようです。仏
教寺院によく置かれる守護神
で、犬ではなく獅子です。もち
ろん対になっています。

見えませんが、何かの仏像が中
に収められていました。



←寺の外から、この寺院の建物
を写した写真です。



③Arulmigu Sri Maha Mariamman Kovil（アルルミグ・スリ・マハ・マリアマン寺院）

ペナン島にあり、先ほどの二つの寺院から少し離れた場所にある、ヒンドゥー教寺院です。



←門の上のカラフルな彫刻が特徴。
あと「WELCOME」と書いてます。



↑やはりここでも、狛犬のように一対の獅子の像が設けられています。

寺に向かって右側を写した写真。→

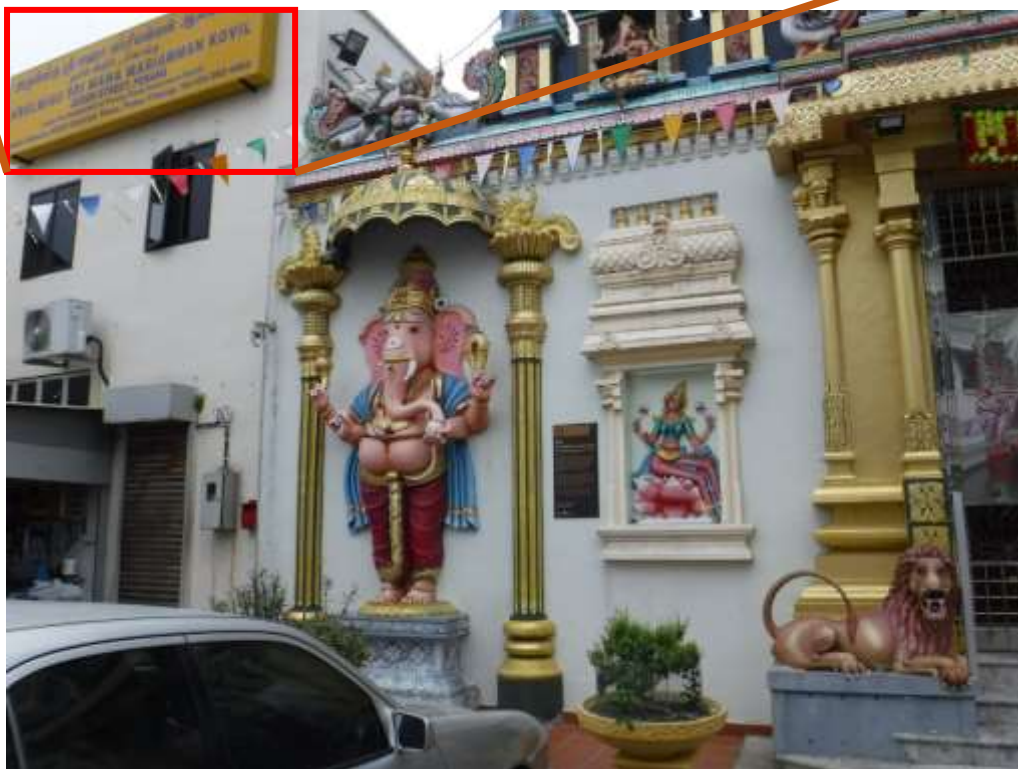


タミル語（南インドで話されている言語）。この寺はヒンドゥー教寺院。ごめんなさい途中で切れています。



Wikipedia では、寺の名前が Arulmigu Sri Mahamariamman Temple となっていますが、看板を見る限り Arulmigu Sri Maha Mariamman Kovil です。Kovil というのは、タミル語で「寺」を意味する語句「கோயில்」の発音を英単語にしたものです。

QUEEN STREET, PENANG とありますが、Penang はペナンのこと。ですから、ペナン島のクイーンストリートにあるということです。



←寺に向かって左側を写した写真です。凄い神様の像があります。

Section 2 中国系の寺院・建物

東南アジア系寺院が、金色を基調としたカラーなら、中国系は黒と赤が基調で、落ち着いた重厚な感じです。

- ① 青云亭（英語だと Chen Hoon Teng Temple）（日本語で青雲亭）
1 ページ目で紹介した、中国仏教寺院。マラッカに位置します。
マレーシア最古の寺です。



↑ 青云亭前景。「昭永徳母」が何かよく分かりません。



↓ → 青云亭を少し引いて撮った写真です。





←ちょっと角度を変えて撮った写真です。
漢字四字がたくさん書かれていましたが一つ
も意味が分かりませんでした。

→青云亭の門。ここに龍の絵が描か
れています。



← 青云亭近くにあった教会(Tamil Methodist Church)。メソジスト（イギリスで生まれたキリスト教の一派。プロテスタント）の教会で、書かれている通り、1908年に建てられました。Tamil(タミル)と書かれていますからタミル人が関係します。タミル人はイギリスが連れてきたからこの教会の宗教がイギリスで生まれたメソジストなのでしょう。なおタミル人は主にヒンドゥー教徒です。



↑ 青云亭の近くはこんな看板？がいろいろ建っていました。
きっと中国人街とかなんでしょう。

②ヘビ寺（中国語だと蛇廟）

こちらは再びペナン島の寺。名前の通り、蛇（ヨロイヘビ）がチョロチョロいる中国仏教寺院です。



↑ 左から「嚴靈清」？
よくわかりません。



蛇
(寺院内)





蛇（寺院隣の施設で飼われていました）



私の記憶が正しければ、寺院内の蛇は毒蛇なのですが、寺の中の線香によって、人を攻撃することがないらしいです。

ちなみに寺院となりの施設では、こんな蛇もいました。→



↑ヘビ寺では、裏の庭で蛇を繁殖させていました。

上の写真の中にもいます。

→右の写真に赤色の実が見えますが、蛇の食べ物だった気がします。



③その他、中国の建物



←福建会館（Hokkien Huay Kuan）。マラッカにあります。マラッカは明の鄭和艦隊来航以降、中国と交流ができて、中国の人々が多く移住しました。

福建会館は福建省から移り住んできた人（とその子孫）が集まる集会所みたいなもので、今では一般の人も入れます。僕は入っていませんが。ともあれ、バリバリ中国色強いです。



←↑福德正神廟（Hock Teik Cheng Sin Temple）。上の写真は入口。

この寺は中国人の守護神である大伯公（Tua Pek Kong）を祀ります。なんと、福建省の中国人の秘密結社本部だったらしいです。福建会館とは福建省つながりになってしまいましたが、福德正神廟はマラッカではなくペナン島にある寺です。

↓→潮州会館（韓江家廟）

福建会館は福建省出身者の集会所ですが、こちらは潮州市（広東省）出身者の集会所。中国人はこうして、出身ごとに集会所を持っていました。韓江家廟と言うのは、潮州が韓江（ハン江）流域にあるからです。

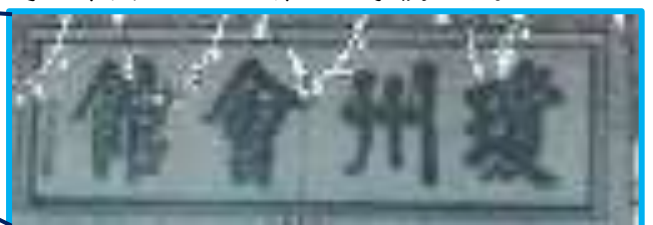


↓すみません文字切れてます。
「海南会館」と本当は書いてありました。



←瓊州会館（海南会館）と↑益華学校。この二つは隣にあります。瓊州は今の海南省海口市あたりにあった昔の州で、広東省と海南島の中の海峡に、瓊州海峡という地名が残っています。

瓊州会館（海南会館）は、瓊州（海南）出身の人たちの集会所で、益華学校は瓊州をはじめ、海南島出身の中国人たちが作った学校です。



→別に歴史的建造物ではないですが、日月壇という果物店です。ここでドリアンを買って食べたことを今でも覚えています。結構美味しかったです。



←日月壇から少し歩くと海に出ました。水上で生活している人がいました。クラン桟橋というところです。

↓移動の船です。



←みんながみんな水上生活というわけではなくて、こうやって半分陸上半分水上的な感じで暮らしている人もいます。

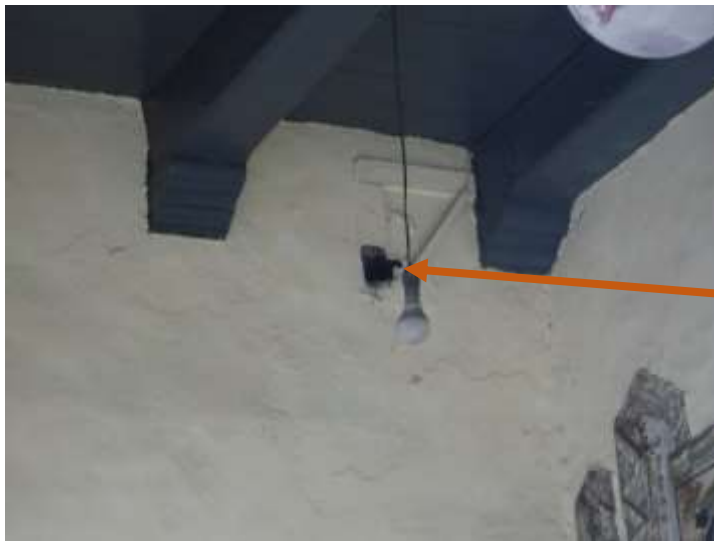


←ペナン島で撮った中国風建築の写真ですが、特段何かある建物ではなさそうです。移動中に撮った写真ですから、特にガイドさんに案内もされていないですし、調べても出てこなかったです。

→ペナン島、マラッカキリスト教会（後述）近くで撮った写真。多分マレーシアと中国の国交 45 周年を記念して建てられたのかなあと推測します。



←どこかの中国人民家で撮った写真。まだインターホンとかがない時代、この、壁に開けられた穴から、来客を確認していたらしいです。



→ペナン島入り口あたりにあった気がします。看板には、SMJK PEREMPUAN CHINA PULAU PINANG PENANG CHINESE GIRL'S HIGH SCHOOL と書いてあります。まあ、中国系の女子高です。





あとここにスタジアムがありますけど、四角形スタジアムですか。多分日本にないですよ。

←さあ、中国系最後は中国ベイブレードのポスターで締めましょう。ペナン島の土産物店に貼ってありました。さすが中国系。超ガバガバです。普通、商品は新しい方を目玉に持ってくるはずですが、大きい二つのベイブレードはビクトリーヴァルキリーとライジングラグナルクという、ベイブレードバーストシリーズ2代目のデュアルレイヤーシリーズなのに、下の方に、3代目のゴッドレイヤーシリーズのベイブレード、ゴッドヴァルキリー等があります。いや、普通は新しいゴッドレイヤーシリーズを目玉にするでしょ。ほんとによく分からないですよ。

中国系って結構名前面白いです。若干中二病
天空神翼＝ホーリーホルスード
天眼宇宙＝ジリオンゼウス

ちなみにジリオンゼウスはデュアルレイヤーシリーズですがゴッドレイヤーシリーズに進化するとギャラクシーゼウスとなり、バスターエクスカリバー（4代目、超Zシリーズ）の格好のバースト標的ですよ。

ギャラクシーゼウス、結構重いので、強い衝撃があったら反動でバーストしちゃうんですよ。ちなみにこの↑この↓にナイトメアロンギヌスがありますがこれのドライバーのデストロイがアタック系なのに意外と持久あって強くて使えます。

[目次へ](#) Section 3 マラッカのヨーロッパ文化

マラッカのオランダ広場付近のマラッカキリスト教会、セントポール教会、サンチャゴ砦についてです。マラッカはポルトガル、オランダ、イギリスの植民地支配を受け、それぞれの影響が残っています。

①マラッカキリスト教会（Christ Church Melaka）

付近の建物も何もかも、とにかく赤。日本の戦国時代ごろはポルトガルがマラッカを拠点にしていたが、マラッカキリスト教会は、ポルトガル統治の後、オランダ統治時代に建てられた教会です。プロテスタント教会。その後、マラッカはイギリス領になり、現在はイギリス国教会の教会となっています。

←マラッカキリスト教会の前景。

光の関係であまり赤くは見えないですが、実際はもっと赤に近いです。

実際は↓こんな感じ。（補正しました）



↓→こういう時計塔？みたいなものもありました。



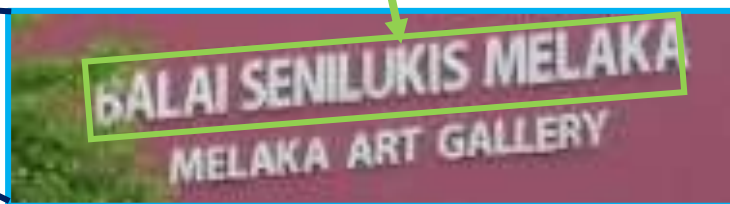
[目次へ](#)

← マラッカキリスト教会がある
オランダ広場という広場を引
いて写した写真です。



← Melaka Art Galery (Balai
Senilukis Melaka)。オランダ広場
の一角にある美術館みたいなも
のでした。

マレー語



オランダ国旗



マレーシア国旗





↑建物に近づいてみるとこんな感じ。結構露店がありました。 ↑少し遠くから撮影。
ドラえもんなどのキャラで飾っている人力車も多かったです。

②セントポール教会（跡）

オランダ広場近くに、マラッカを見渡せる小高い丘があり、そこにあるカトリック教会です。カトリックだから、ポルトガル植民地時代に建てられた教会です。1500年代からある、マレーシアで最も古い教会です。



↓この白い建物はイギリス統治時代に建てられた灯台です。



↑→セントポール教会を外から撮った写真。かなり古いです。



←↓セントポール教会の内側。屋根はもうないです。





←→同じく教会内部。いろいろな墓石がありました。



←ザビエル像。髪があります。そして、よく見ると右手がないです。死後、ザビエルの右手は遺体と別々になったのですが、それと関係しているのかもしれませんが。



↙↓↑セントポール教会がある小高い丘から一望する
マラッカ。ま、赤。…まあか…マアカ…マラッカ…
ごめんなさいなんでもないです。



③サンチャゴ砦

ポルトガルがマラッカを植民地支配し始めた初期（1500年代初め）に建造された砦です。ヨーロッパ列強はお互いに仲が悪かったのですが、サンチャゴ砦も、敵国の侵攻に備えて造られた砦です。セントポール教会のある丘から下りていくと麓にこの砦があり、中を通り抜けられます。



←↓サンチャゴ砦正面。なんかセントポール教会と雰囲気似ています。彫刻が彫られていますが、後にオランダが彫ったものらしいです。



↑入口付近を斜めから写した写真。



↑サンチャゴ砦の（彫刻が彫られている方と）別の入口です。



→サンチャゴ砦内部。なかなかの古さを感じさせる建物でした。

[目次へ](#)

→セントポール教会の丘から下りて来るときに撮った、サンチャゴ砦を上から写した写真です。



↓サンチャゴ砦正面にあるポルトガルによって作られたらしい大砲（おそらく復元）。



←サンチャゴ砦近くにあった飛行機。何の飛行機でしょうか。

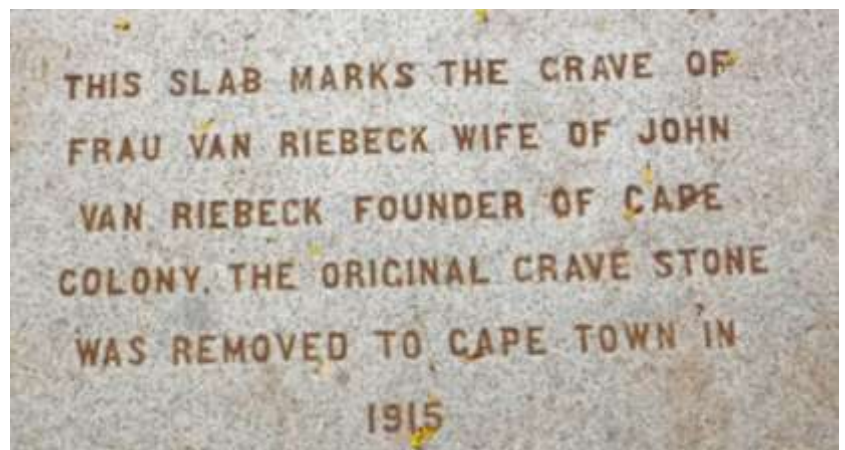


→サンチャゴ砦近くの地面の石板に刻まれた文字です。

This slab marks the grave of Frau Van Riebeck wife of John Van Riebeck founder of cape colony. The original grave stone was removed to cape town in 1915.

と書いてあります。

訳:「この石板は、ケープ植民地の創設者であるジョン・ファン・リーベークの妻、フラウ・ファン・リーベークの墓を示しています。元の墓石は1915年にケープタウンに移されました。」



[目次へ](#)

④高所からのマラッカの眺め

サンチャゴ砦から少し歩いて、マラッカを一望。

遊園地で、高いところまで上って一気に落下するアトラクションがあるじゃないですか。それがでっかくなって窓が付き、落下せず下りていくという移動式展望台に乗りました。



[目次へ](#)

Section 4 オランウータン

ペナン島の近くに、ブキッ・メラ・レイクタウン・リゾートというところがあり、その中のオランウータン島に、オランウータンがたくさん飼育されていました。



↑超のんびりしている大きなオランウータン。↑



↑左側の小さい子どもオランウータンに与えられたエサを横取りする大人オランウータン。大人気ない。



←同様に、子どもオランウータンのエサを横取りする大人オランウータン。ひどい。



←↑別の場所で、綱渡りなどを器用にこなす子どもオランウータンたちです。



↑子どもオランウータン。色は違えど、立ち方がゴリラみたいだと一瞬思いました。

[目次へ](#)

Section 5 ペナン島

マレーシアの観光地であるペナン島の写真です。ペナン島がどこか忘れた人は Section 1 冒頭の地図へ。

①コーンウォリス要塞（Fort Cornwallis）付近

「コーンウォリス」は提督の名で、イギリス統治時代に建てられた要塞。17 門の大砲が設置されています。



←コーンウォリス要塞正面。

旗が見えますけど、拡大すると

↓こんな感じです。ペナン州旗（左右逆）。



コーンウォリス要塞のいろいろな場所を撮影した写真



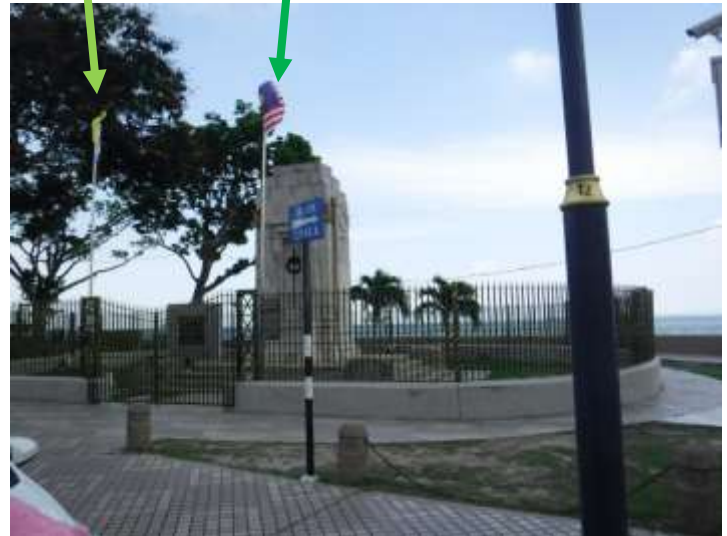
[目次へ](#)



←コーンウォリス要塞のすぐそばにある、マレーシア海軍の建物です。そのあたりは昔も今も戦略上大事な地点です。



ペナン州旗 マレーシア国旗



↑／コーンウォリス要塞の隣の碑。ペナン島辺りは戦略上重要で、WW I でも戦場となりました。その犠牲者を追悼するためにイギリスが建てた碑です。

→Queen Victoria Memorial Clock Tower
コーンウォリス要塞の近くにあって、ビクトリア女王の即位 60 年を祝って建設された時計塔です。





コーンウォリス要塞となりの公園にあった、きれいに剪定された植物です。結構、種類が豊富でした。



↑特別な木だった気がしますが忘れしました。

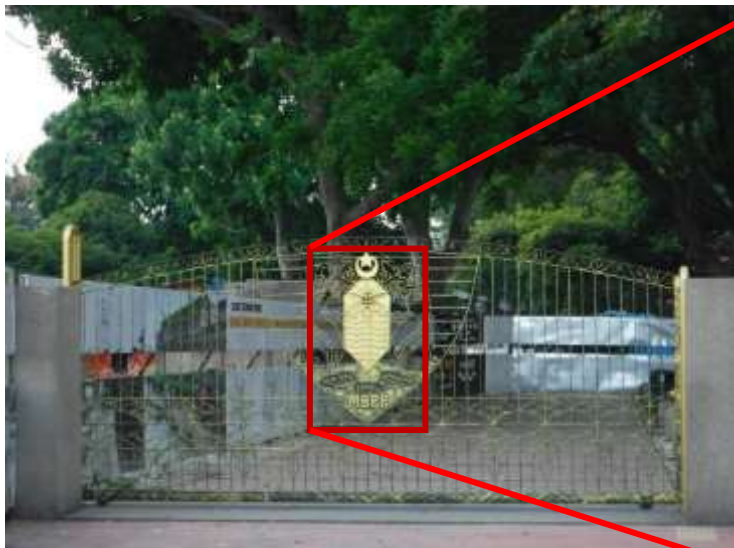
[目次へ](#)

↓→コーンウォリス要塞近くのモスク。
このモスクは、カピタン・クリン・モスク（マレー語で Masjid Kapitan Keling）と言います。



←ペナン市庁舎正面。かつてイギリス東インド会社が拠点を置いたことがあるらしいです。

↓市庁舎を横から撮った写真



← MBPP = Majlis Bandaraya Pulau Pinang = ペナン市議会
この場所何なのかよく分からないですが、きっと市議会関連の施設なんでしょう。

[目次へ](#) ②ペナン国立公園付近（マレー語で Taman Negara Pulau Pinang）（英語で Penang National Park）
写真はほぼないですが。



↑ 看板です。



↑ → 近くに長い橋がありました。見える船は全部漁船です。



[目次へ](#)

Section 6 クアラルンプール

今まであまり出てきていないですが、マレーシア首都、クアラルンプールで撮った写真です。

①マレーシア王宮（Istana Negara）

マレーシアのスルタンが住んでいる王宮。大手門より先に入れません。金色基調です。



←大手門。

日本の城の門と比較です。



↑ 姫路城



↑ 江戸城

←少し引いて写しました。大手門の前は結構な大きさの広場になっています。

日本の城が防御を第一にしたのに対して、こちらは威信を示すことが第一ですから。

↓拡大して写した、マレーシア王宮の本丸？のところですか。



→
王宮の門





←マレーシア王宮の反対側。
とても広い道路です。
向こう側にはKLタワーらし
きものも見えます。

②ペトロナスツインタワー（452m）
マレーシア、クアラルンプールの象徴です。



[目次へ](#)



→近くにあった、
Public Bank という
銀行です。結構大き
な銀行で、建物がホ
テルみたいです。



昼のペトロナスツインタワー。
あんまり目立たないです。

③国家記念碑

マレーシアの独立のために戦った人々のための記念碑です。



←像正面。

像をつくったのは、アメリカの硫黄島記念碑をつくった人と同じ人です。兵士7人いて、5人の兵士が連合軍、倒されている2人は、マレーシア独立の際敗北した日本軍（WWⅡで占領）と共産党（独立の際ゲリラ抵抗を行った）らしいです。



マレー語。

マレー語はアルファベットも使いますが、アラビア文字から派生したこういう文字（ジャウイ文字）もあります。イスラムらしさが出ています。

英語。

Dedicated to the heroic fighters in the cause of peace and freedom. May the blessing of Allah be upon them.と書いてあります。

訳：「平和と自由のために戦った英雄的な人々に捧ぐ。アッラーの祝福が彼らにあらんことを。」

→少し離れて撮影。

マレーシアの国旗がアメリカ国旗と似ているので、何も知らない人に見せたら間違いなくアメリカだと答えそうです。



[目次へ](#)

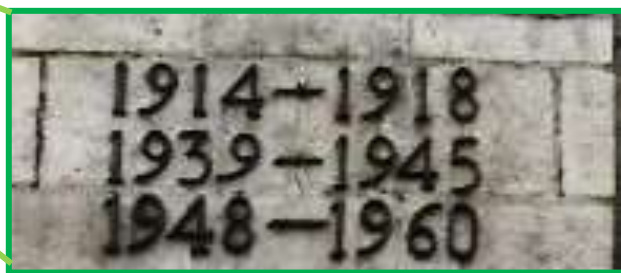


←こういうモニュメントもありました。

↓1914—1918：第一次世界大戦（当時イギリス領）

1939—1945：第二次世界大戦（日本占領）

1948—1960：Darurat Malaya（マラヤ危機）（独立を巡って中国人を中心とするマレー共産党と内戦）



↑→横から写した写真です。



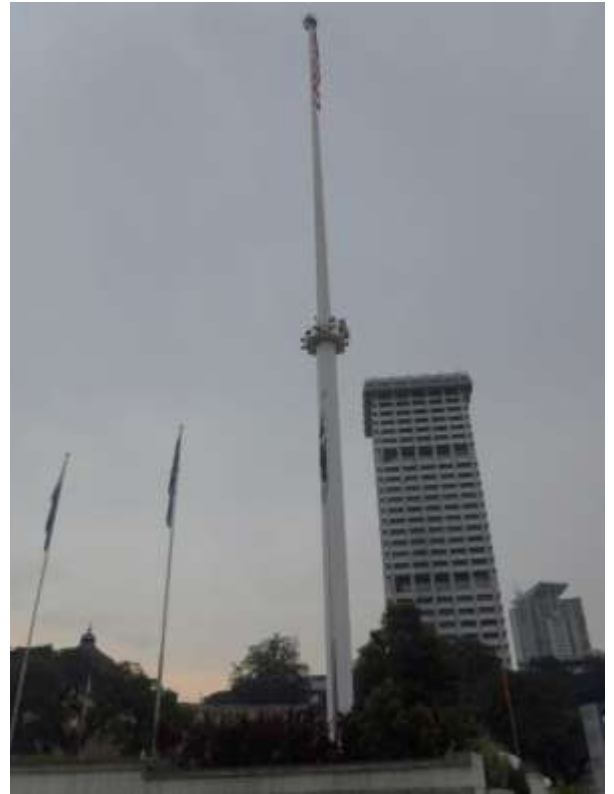
④独立広場（英語で Merdeka Square）（ムルデカ・スクエア）（マレー語で Dataran Merdeka）付近

[目次へ](#)

独立広場は、国家記念碑から少し行ったところにある広場で、近くにいろいろありました。



↑→旗がたくさん掲揚されていました。風が吹かないのが悲しい。

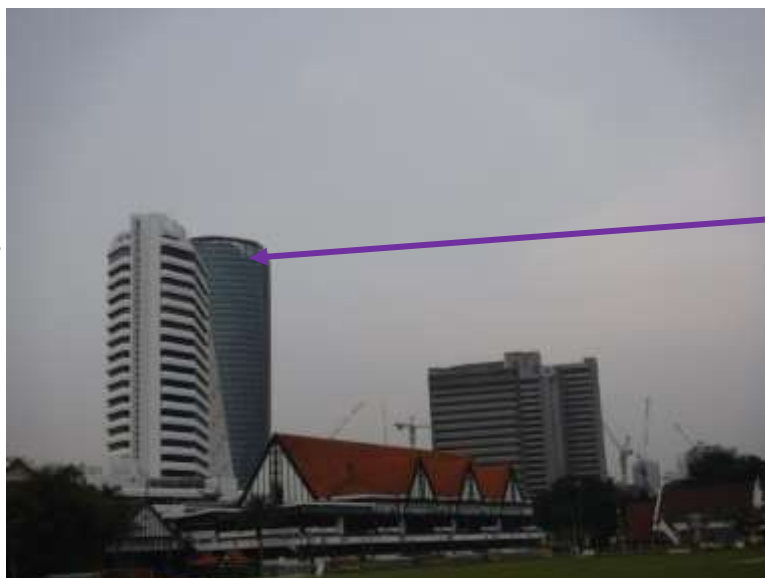


←歴代首相の肖像。NOT 国王。



↑このビルを別の場所から撮影した写真。KKR 2 タワー。高さ 175m。

→独立広場からの写真。



[目次へ](#)



←↓スルタン・アブドゥル・サマド・ビル（マレー語で Bangunan Sultan Abdul Samad）。独立広場に面して建っていて、ここでマレーシア独立が宣言されました。イギリス領時代から建っています。

乗ったバス。



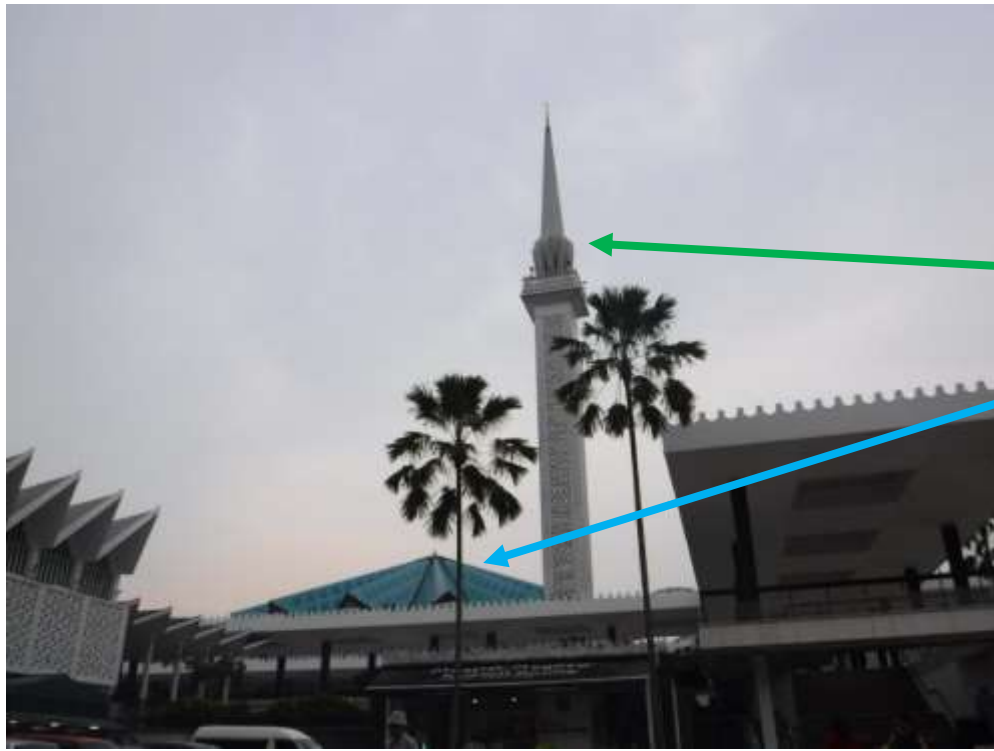
↑マレー鉄道事務局ビル（KTM ビル）。結構歴史ある建物。イスラムっぽい建築です。



↑マレー鉄道事務局ビル（KTM ビル）を少し引いて。



↑「Jabatan Agama Islam Wilayah Persekutuan」と書かれています。「連邦領土イスラム宗教評議会」みたいな意味になります。マレー語のジャウイ文字も見えます。



←マレーシア国立モスク（英語だと Malaysia National Mosque）（マレー語だと Masjid Negara）です。
白亜のミナレットと、水色のモスクが特徴です

↓正面玄関の看板



↑正面玄関。



↑少し角度を変えて。

コンプレックス・ダヤブミ（Kompleks Dayabumi）



↑イスラム教シンボルマークの一つ、ルブ・エル・ヒズブ。地面に描かれていました。



KL タワー（421m）



↑KLタワー、ペトロナスツインタワー、PNB118（建造中。644m）。マレーシアの高層建築の模型です。



↑マレーシアの警察。よく見ると、「POLIS」と書いてあります。マレー語は英語とちょっと違います。例えば、バスは「bas」と書きます。

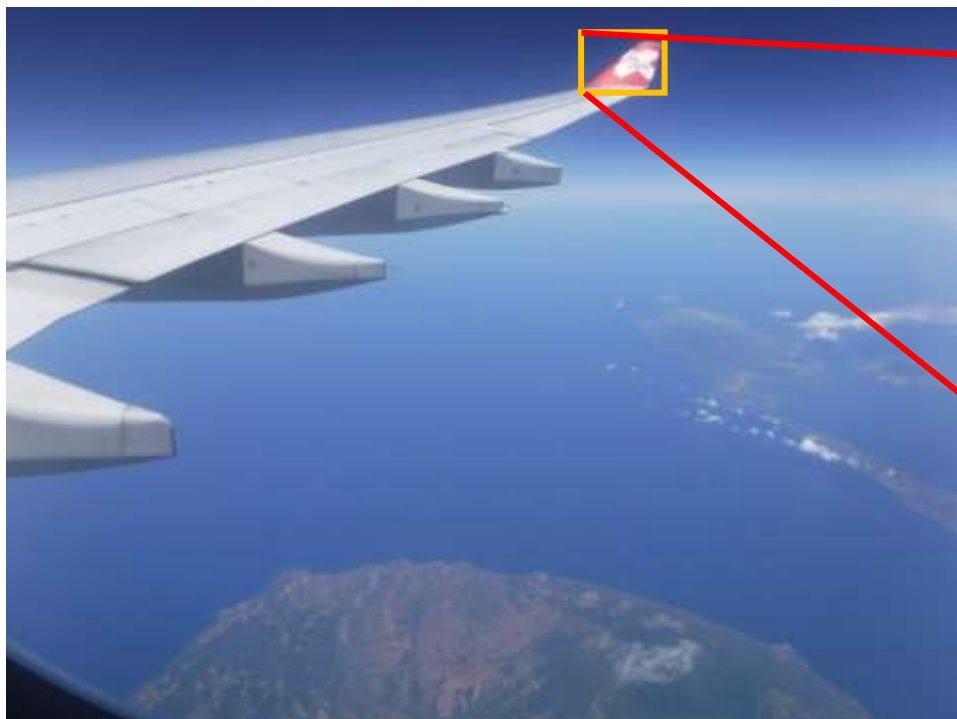
[目次へ](#)

Section 7 その他

かなり大雑把なタイトルですが、移動中や宿泊先、そしてどこで撮ったか忘れたものも入っています。



↑→一泊、豪華なホテルに泊まりました。
何という名前だったか忘れましたけど。



↑飛行機。右上拡大写真から分かるように、AirAsia 航空です。LCC です。「少女前線」という中華系アプリの広告が機内&機外一面にあって、雰囲気的にはネット広告的な感じでした。気持ち悪くてフライトの間ずっと寝ていました。



↑→クアラルンプール空港にあるドラえもんショップです。説明をよく見てみると、「SHOPPING BAG」が、「2枚以上の領収書（この店で買ったものなのか、別の店を含むのかよく分からない）と250マレーシアリングット」と引き換えにゲットできます。変動しますが1マレーシアリングット≒25～30円です。だから安くて6250円ですか？それに加えてレシート2枚。ハードル高すぎませんか？

「UMBRELLA」は、2枚のレシートと350マレーシアリングット。8750円以上もとられるようです。でもカサに関しては「exclusive」（限定品）と書いてあります。

→クアラルンプール空港の売店。
WELCOME＝英語
SELAMAT DATANG＝マレー語
欢迎光临＝中国語
マレーシアの人口構成はマレー系65%に次いで、中国人24%です。





マレーシアの鉄道。
あまり日本の鉄道と変わらなかったです。
でも、クーラーがガンガンだったのは覚えています。



↓→ペナン島のホテルからの眺めです。
下はホテルの部屋からの眺めで、右は海岸に下りて撮ったものです。





←↑マレーシア民家。
入口が2階にありました。
何かあった気がします
肝心なところを忘れてし
まいました。



←↙↓マレーシアの信号
機。全部が全部そうではな
いかもしれませんが、大
通りの信号機にはあと何
秒で赤（青）が終わるとい
う秒数表示が付いていま
した。
こういうの好きです。



[目次へ](#)



高速道路を走るバスの車窓より。
右上、パーム油のアブラヤシでしょうか。
2021 開成中入試にも出てました。



この山は確か、石灰岩が採掘される山だったと記憶しています。

[目次へ](#)



↑マレーシアにあったイオンとホンダです。↑



←土産物屋さんに行って売り付けられたブレスレットです。

マレーシアは昔からスズがとれて、スズと磁石を組み合わせたこのブレスレットで、腕の疲れが取れるらしいのですが、付けてからというもの、ブレスレットの重みで逆に疲れます。

もう今では付けてないです。数千円もしました。

ちなみにその店、中国系の店で、支払いには日本円にも対応していて、めちゃくちゃ高いが本当にすごいのかよく分からない宝石がたくさんありました。絶対日本人とか観光客に売り付けて荒稼ぎする気でしょ。

↓→ペナン島の教会。Catholoc Patorial Centreと書いてあります。カトリック教会です。



[目次へ](#)

<ここから説明すらできない写真たちです>



多分軍用車両



[目次へ](#)



Thank You for Reading!